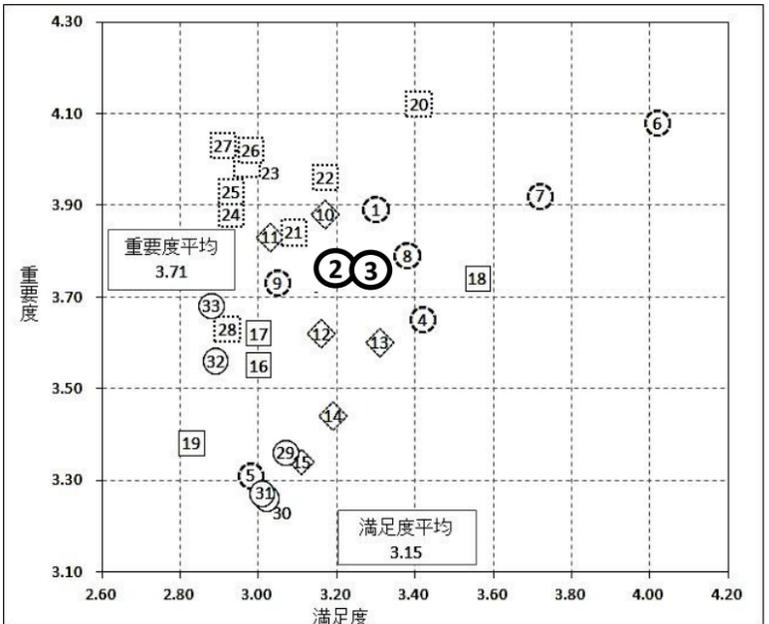


基本施策	12	道路・交通	
施策の内容	121	総合交通対策の推進	都交 環境
	122	道路の整備	道路 都交、土木
	123	歩道・自転車道の整備	道路 都交、土木、公園
	124	公共交通の充実	都交 まち
	125	駐車場・駐輪場の整備	都交 道路、土木、安全

施策責任者	都市整備部長 建設部長
とりまとめ課	都市交通課

基本施策の位置づけ	第7次総合計画	基本方針	1	都市と自然が織りなす住みよいまちづくり
		めざす姿(生活像)	まちの状態	適正な交通分担により環境にやさしい道路交通環境が形成されています。 交通事故の危険が少なく、安心して出かけることができる歩行空間が確保されています。
			市民の暮らし	渋滞が減少し、移動時間が短くなっています。 車が運転できない人も、不自由なく買い物などに出かけることができます。

満足度・重要度評価項目		区分	22年度	24年度
市政に対する市民の評価	2	道路の整備	満足度	当該施策 3.16 / 3.2 平均値 3.09 / 3.15 施策順位 10/33 / 10/33
			重要度	当該施策 3.65 / 3.77 平均値 3.69 / 3.71 施策順位 19/33 / 15/33
			3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	重要度	当該施策 3.74 / 3.76 平均値 3.69 / 3.71 施策順位 15/33 / 16/33		



目標指標の達成状況	指標名称	単位	実績値		目標値	
			策定時	24年度	27年度	32年度
まちの状態	自動車以外の交通分担率	%	24.4	—	26	29
	車や自転車などで移動しやすい道路と思う市民の割合	%	60.2	60.5	63	66
市民の暮らし	主要区間の平均所要時間(刈谷駅～市内主要地点)	分	18.5	—	17.5	16.5
	公共施設連絡バスの年間利用者数	人	443,615	611,099	630,000	650,000
補足指標	日常の移動手段として、自転車や公共交通機関の利用を心がけている市民の割合	%	38.8	39.7	41.0	45.0
	人口1,000人当たりの人身事故発生件数(県平均6.9件)	件	7.4	6.9	県平均以下	県平均以下

施策推進に関連する団体	刈谷市都市交通協議会、市内企業、交通事業者、警察、愛知県
-------------	------------------------------

基本施策の評価	現状の分析と課題	<p>市民意識調査では、満足度、重要度ともに平均値を上回っている。</p> <p>「道路の整備」については、交通公園から産業振興センターまでをつなぐ道路が開通したことなど、着実な道路整備を行うとともに、交差点改良を実施し、慢性的な交通渋滞の解消に取り組んだことや、安全に歩ける歩道の整備が進んだことから、満足度が上昇したものと思われる。しかし、現在も通勤時の交通渋滞が発生する箇所は多く、また産業活動に直結する本市の特徴から、さらなる道路整備が望まれているため、重要度も高い結果となっている。</p> <p>「鉄道・バスなど公共交通の充実」は、公共施設連絡バスの一ツ木線、依佐美線の路線が追加され、利便性が向上したとの実感から満足度が高くなっているものと考えられる。また、近年の環境意識や健康志向の高揚から、公共交通や自転車を利用する人が増え、移動手段に対する関心が高くなっており、重要度が高くなっていると考えられる。</p> <p>本市の特徴として、産業活動を支える視点から、今後も道路の整備が必要であると同時に、これからは総合交通体系の確立をめざし、鉄道・バス・自転車交通の円滑化を図り、適切な交通分担、環境に配慮した移動方法を検討し、自転車道の整備などハード面の対応と新たな公共交通ネットワークの構築を進める必要がある。</p>
	今後の方向性	<p>平成24年度に策定した「刈谷市都市交通戦略」を本市の都市交通の指針とし、産業活動を支え、都市圏を連携する軸となる幹線道路の整備を進めるとともに、各地域を結び、過度に自動車交通に依存しなくても移動できる公共交通ネットワークの形成、市内中心部や地域拠点の周辺においては、歩道、自転車道など“人”を中心とした総合交通体系の確立を進めていく。</p> <p>道路の整備については、限られた財源の中で、事業の優先度を位置づけ、計画的な整備を行っていく。公共交通については、公共施設連絡バスの増便で利便性が向上しているため、今後は停留所の設置箇所の再検討や交通結節点とのネットワーク強化を図るなど、移動に関する所用時間の減少を検討・改善するとともに、定住自立圏による他市からの乗り入れバスとの有効的な連携、バスラッピングなどによる広告収入の確保などに取り組む。</p>
	共存・協働のまちづくりの推進状況	<p>「刈谷市都市交通戦略」の策定にあたり設置した、市民代表、市内企業代表、交通事業者などによる「刈谷市都市交通協議会」を事業推進、進捗管理を行うための組織として継続して設置する。</p> <p>また、自動車の適正な利用を推進するためにも、市内の企業、交通事業者等の協力を得ながら、総合交通体系の確立に向けた施策の展開を検討する。</p>

施策全体の投入コスト (単位:千円)	構成事務事業の投入コストの合計	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(当初)
		2,349,532	2,741,970	1,825,766
		6.2%	7.4%	5.0%

◎	施策の成果向上を図るため最も重点的に推進すべき事項
○	現状どおり推進すべき事項
▲	施策の内容が達成されている、又はコスト削減を図れる事項

「施策の内容」の推進状況と課題	121 総合交通対策の推進		担当課	都交	関係課	環境			
	投入コスト(千円)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(当初)	重点プラン			重要度	構成事務事業
		15,758	11,386	23,085	該当	15		◎	2
		0.7%	0.4%	1.3%					
	成果	刈谷市都市交通協議会を設置し、「刈谷市都市交通戦略」を策定した。 事業の推進、進捗管理のため引き続き協議会を設置する。「刈谷市都市交通戦略」の国土交通大臣認定を受けた。「刈谷市都市交通戦略」の策定後、パネル展示会を開催し策定に関するアピールを行った。		課題	徒歩、自転車及び公共交通による移動と自動車による移動を両立させ、自動車利用の適正化(自動車交通量の10%削減)を目指した交通体系の確立が必要である。 交通戦略を推進するためには、関係者との連携が必要と考えている。今後は積極的な事業展開を行う中で市内企業、交通事業者と連携し自動車交通の円滑化や、公共交通の利用促進を進めていく必要がある。				
	122 道路の整備		担当課	道路	関係課	都交、土木			
	投入コスト(千円)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(当初)	重点プラン			重要度	構成事務事業
		1,762,558	2,050,964	932,572	該当	09		◎	31
		75.0%	74.8%	51.1%					
	成果	市道01-4号線と市道01-25号線においては、車道と歩道の拡幅整備により、自動車交通の円滑化を図った。また、交差点では、車道の拡幅による右折専用車線の整備と公安委員会による歩車分離式信号への変更により、渋滞が緩和された。計画路線では、事業用地の取得を進めることができた。		課題	渋滞・安全対策として交差点改良が必要な場合、主要幹線道路沿いでは、既に土地利用が進んでおり、用地取得が困難である。 地区要望による生活道路は関係地権者の同意をいただき整備を進めているが、用地交渉段階で協力が得られないケースがある。				
123 歩道・自転車道の整備		担当課	道路	関係課	都交、土木、公園				
投入コスト(千円)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(当初)	重点プラン			重要度	構成事務事業	
	273,840	552,181	314,130	該当	01	15	○	7	
	11.7%	20.1%	17.2%						
成果	「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(国土交通省、警察庁)」策定をうけ、刈谷市都市交通戦略で提示した自転車ネットワークに修正を加え、基本的方針を検討した。 刈谷駅及び富士松駅周辺の路線において歩道を新設したことで、歩行者と自動車の通行帯が分離され、歩行空間の確保ができた。 計画路線では、事業用地の取得を進めることができた。		課題	自転車利用の推進を図るため、「自転車利用環境創出ガイドライン」「都市交通戦略における自転車整備の基本方針」を踏まえた、安全に通行できる自転車利用環境の整備を行う必要がある。 市内中心部等自動車の交通量が多く、人の利用が多い道路などがあるため、今後も引き続き歩道の設置を行う必要がある。					
124 公共交通の充実		担当課	都交	関係課	まち				
投入コスト(千円)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(当初)	重点プラン			重要度	構成事務事業	
	403,736	266,471	534,350	該当	09	15	○	5	
	17.2%	9.7%	29.3%						
成果	公共施設連絡バスの路線追加・運行ダイヤ改正、名鉄バス「刈谷・愛教大線」のダイヤ改正など運行主体別の利便性向上を図ることができた。 名鉄富士松駅、JR逢妻駅のバリアフリー化について、交通事業者と調整を行い、スケジュール等の検討を行った。		課題	移動に関する所要時間の短縮、鉄道との連携など公共交通ネットワーク構築に向けた検討を行い、さらなる公共交通の利便性向上を図る必要がある。					
125 駐車場・駐輪場の整備		担当課	都交	関係課	道路、土木、安全				
投入コスト(千円)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(当初)	重点プラン			重要度	構成事務事業	
	167,762	143,265	140,737	該当	15		▲	6	
	7.1%	5.2%	7.7%						
成果	駐輪場の整備を行い、近年の自転車利用の促進に対応し、利便性の向上を図ることができた。 国道23号高架下空間の有効利用により駐車場を整備し市民サービスの向上を図った。		課題	刈谷駅、東刈谷駅、一ツ木駅においては、自転車駐輪場需要が増加している。駅近くでの駐輪場用地確保は難しい状況にあるため、新たな自転車駐輪場の用地を確保する必要がある。 刈谷駅周辺の路上駐車対策として、既存駐車場への利用を促し道路の適正な利用を推進する必要がある。					

基本施策	12 道路・交通		
施策の内容	施策	担当課	関係課
	121 総合交通対策の推進	都交	環境
	122 道路の整備	道路	都交、土木
	123 歩道・自転車道の整備	道路	都交、土木、公園
	124 公共交通の充実	都交	まち
	125 駐車場・駐輪場の整備	都交	道路、土木、安全

拡充	⑤	②	①
現状維持	⑥	③	
改善・効率化	⑦	④	
縮小	⑧		
終期設定	⑨		
休止・廃止	⑩		
	無	縮小	維持 拡充
	予算対応の考え方		

●構成する主な事務事業

121		総合交通対策の推進		総事業コスト（単位：千円）			事務事業評価（24年度決算）					予算対応の考え方	担当課
事業No	事務事業名	重点P	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	必要性	効率性	妥当性	貢献度	方向性			
1	都市交通計画調査推進事業	15	—	11,337	23,085	高い	普通	高い	高い	拡充	①	都市交通課	
2													
3													
4													
5													
6													
備考													

122		道路の整備		総事業コスト（単位：千円）			事務事業評価（24年度決算）					予算対応の考え方	担当課
事業No	事務事業名	重点P	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	必要性	効率性	妥当性	貢献度	方向性			
1	市道01-4号線他道路新設改良事業	09	64,949	1,682	44,545	高い	普通	普通	高い	拡充	①	道路建設課	
2	市道01-25号線電線類地中化事業	09	39,790	63,251	53,011	高い	高い	普通	高い	終期設定	⑨	道路建設課	
3	市道01-40号線他道路新設改良事業	09	105,155	101,521	20,970	高い	普通	普通	高い	拡充	①	道路建設課	
4	市道1-32号線他道路新設改良事業	09	47,758	27,943	4,200	高い	普通	普通	普通	現状維持	⑥	道路建設課	
5	市道2-496号線他道路新設改良事業	09	238,584	196,372	19,927	高い	普通	高い	高い	拡充	①	道路建設課	
6	交差点改良事業	09	127,999	6,664	5,085	高い	普通	普通	高い	現状維持	③	道路建設課	
備考													

平成25年度 刈谷市施策評価シート

123		歩道・自転車道の整備		総事業コスト（単位：千円）			事務事業評価（24年度決算）					予算対応の考え方	担当課
事業No	事務事業名	重点P	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	必要性	効率性	妥当性	貢献度	方向性			
1	市道01-25号線電線類地中化事業	01	—	63,251	53,011	高い	高い	普通	高い	終期設定	⑨	道路建設課	
2	市道1-474号線他道路新設改良事業	01	15,476	132,215	100,260	高い	高い	普通	高い	終期設定	⑨	道路建設課	
3	市道2-298号線他道路新設改良事業	01	—	87,410	85,973	高い	高い	高い	高い	終期設定	⑨	道路建設課	
4	市道2-303号線交通安全施設等整備事業	01	4,022	17,469	31,358	高い	高い	高い	高い	終期設定	⑨	道路建設課	
5	市道2-496号線他道路新設改良事業	01	238,584	196,372	19,927	高い	普通	高い	高い	拡充	①	道路建設課	
6	都市交通計画調査推進事業	09	—	11,337	23,085	高い	普通	高い	高い	拡充	①	都市交通課	
備考													

124		公共交通の充実		総事業コスト（単位：千円）			事務事業評価（24年度決算）					予算対応の考え方	担当課
事業No	事務事業名	重点P	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	必要性	効率性	妥当性	貢献度	方向性			
1	公共施設連絡バス運行管理事業	15	192,001	212,515	220,928	高い	普通	高い	普通	改善・効率化	④	都市交通課	
2	名鉄富士松駅駅舎改修負担事業	15	—	26,681	243,576	高い	高い	高い	高い	終期設定	⑨	都市交通課	
3	都市交通計画調査推進事業	15	—	11,337	23,085	高い	普通	高い	高い	拡充	①	都市交通課	
4	刈谷駅南口駅前広場整備事業	09	—	593	21,990	高い	高い	高い	高い	終期設定	⑨	道路建設課	
5													
6													
備考													

125		駐車場・駐輪場の整備		総事業コスト（単位：千円）			事務事業評価（24年度決算）					予算対応の考え方	担当課
事業No	事務事業名	重点P	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	必要性	効率性	妥当性	貢献度	方向性			
1	駐輪場整備事業	15	1,795	19,080	2,421	高い	普通	普通	普通	現状維持	③	道路建設課	
2	駐車場整備事業	15	40,582	—	—	—	—	—	—	—	—	土木管理課	
3													
4													
5													
6													
備考													